

vol.243

きらめく
駿河台大学を
お届けします

[スパークル]
Sparkle
Surugadai University News

2023
autumn

特集

新理事長就任

2023年8月に就任した山崎志保理事長に
駿河台大学の現在・過去・未来について語ってもらいました

財務状況報告2022年

CROSSTALK 学生スタッフ「パソコン相談員」

活動報告 2023年8月～10月

駿大スポーツ #カヌー部(スラローム) 田中雄己選手

Circle and Me a.c.p×堀籠さん



山崎 志保 新理事長 就任！

やまざき しほ
山崎 志保

profile

上智大学法学部卒業、立教大学大学院にて
修士（社会デザイン学）取得。
主な専門分野は比較組織ネットワーク。
2017年9月10日より駿河台大学大学審議役。
2023年8月3日より理事長に就任。

これまで駿河台大学の大学審議役として、本学の発展に従事してきました山崎志保が2023年8月3日付で新理事長に就任いたしました。新理事長が考える大学像、学生への期待など本学の現在・過去・未来についていろいろとお話を伺いました。

駿河台大学への想い

本学は建学の精神として「愛情教育」を理念に掲げ、以来37年間貫いています。その精神は教職員にも根付いており、学生と教員、学生と職員との距離が近いことが本学の特徴です。大学憲章でも掲げていますように、ひとりひとりの歩幅に合わせた教育をすることに重きを置いています。

開学当初から少人数教育に力を入れ、全学部全学年でゼミナールを必修化し、ひとりひとりの学生に対して教員がきめ細やかな教育をしているので、学生も先生に相談しやすい環境が整っているのではないかと考えています。これから先も「愛情教育」を基本とし、大学にとって最善の判断をすることを最優先に、学生ひとりひとりと真摯に向き合いながら歩んでいきたいと思っています。

本学の今後について

本学で学ぶ学生には、本学での学びを通じて成功体験を積み上げ、世の中を主体的に変えていけるような人になってほしいと願っています。そのために教員には専門・教養教育に留まらず、「学ぶことが楽しい」と学生が感じられるような仕掛けを生み出すてくれることを期待します。

また、学びだけではなく、このキャンパ

スで過ごすことが楽しい」と学生が思えるような空間づくりにも力を入れていきたいです。学生の目線に立ち、課外活動や地域での実体験の機会、学食、図書館等施設のより一層の充実を図っていきたくと思っています。

今後の大学のあり方としては、国の政策を注視しつつ、それぞれの大学が個性を突き進めていくことで、その大学の存在価値が見い出されると考えています。存在価値が位置付けられた大学は今後も支持されていくと思いますので、飯能という自然の地形を活かした実地体験等の本学ならではの教育や地域に愛される大衆学として、今まで以上に地域との連携を強め、地域との共生を掲げつつ、取り組んでいく必要があると感じています。



され、結果的に教育の質の向上にも結び付くと考えています。教職員一丸となり、様々な改革に取り組んでいきます。

駿大生への期待

世の中の事象には、自身でコントロールが可能なことと不可能なことがあります。自身では変えられないこともあるという事実を受け止めつつ、識別する知恵を身につけ、コントロールできることに主体的に取り組んでいくことで、世界が広がりが自分のやりたいことが見えてくると思います。

本学に入学した学生には「幸せな就職」をして欲しいと願っています。納得のいく進路を切り拓くためには、何が得意で何が好きなのか、自己分析をしっかりと行い、妥協せずに自分に合った選択肢を見極めることが何よりも大切です。近年は早期に就職活動が始まり、じつくりと考える時間が以前よりも短くなっていますが、大学生活の中で自分にとって何が大事なのかを意識しながら、自分の未来を描いて欲しいと考えています。本学には入学した学生を『育てる』『プロフェッショナルが揃っています。大学生活の中で自分を探究し、学びを通じて成功体験を積み上げてほしいと思います。』

パソコン相談員を応募した理由や
きっかけを教えてください。

田中 小学生の頃から、iPhoneやパソコンなどを遊び感覚で操作していたので、電子機器の操作には自信がありました。自分の知識も活かしつつ、新しいスキルも身につくのではと思い応募しました。

藤井 僕も同じく小学校3年生くらいから電子機器に自由に触れる環境があり、得意でした。初めてのアルバイトをするにあって少し不安を感じていましたが、「ポタロウ」でパソコン相談員の募集を見つけて、学内で働くことができる上、自分の「好き」を活かせると感じました。

宮川 私は入学直後に先輩から学内アルバイトがあることを知り、パソコン相談員を見つけてきました。2人とは違って、パソコンを本格的に扱い始めたのは大学からで、どちらかというと苦手意識がありました。しかし、だからこそ克服したい気持ちがあり応募しました。相談対応をする中でコミュニケーション能力も高められればという期待もありました。

Sparkle

CROSSTALK

学内アルバイトを通じて自分と向き合う

メディアセンターでは、「パソコン相談員」という学生スタッフが活躍しています。館内に設置するパソコン・プリンターなどの操作のサポートやメディアセンターの広報を担っています。今回はその中から代表して3人に集まってもらい、それぞれの取り組みや今後の目標について語ってもらいました。



みやがわ しほ
宮川 志穂
メディア情報学部2年

たなか りく
田中 琉久
法学部3年

ふじい せい
藤井 誠太
メディア情報学部2年

相談員を通してどんな経験を

してきましたか？

田中 相談員になってすぐ、自分の未熟さを痛感しました。どんな質問でも瞬時に応えられるようになりたいと思いい、待機中に先輩に相談したり、書籍やウェブで調べたりしながら日々スキルアップや復習を心がけています。

藤井 私も同じです。他にも大学に設置されている機器は家庭用とは勝手が違うので、業務用の仕様を覚えなければならぬことは、とても勉強になっています。

宮川 館内の掲示を作成するために、Adobe系のソフトを使うようになりました。それをきっかけにパソコンに触れる時間も増え、苦手意識は払拭できました。また、情報システム課の職員（以下「職員」）の方と会話をする中で、動画制作に興味があることを伝えたところ、メディアセンターの広報動画を作成する機会をいただきました。設備や館内サービスの紹介、パソコン相談員がよく受ける質問などを利用する学生のみなさんに知ってもらえるように情報を整理して動画にまとめています。

田中 私も駿河台大学の魅力を伝える目的で、教育版マイクラフト（以下「マ

イクラ」）を活用して、展示をするプロジェクトを企画して取り組んでいます。職員の方から校内の設計図をもらい、

マイクラ上の縮尺を計算して外観を組み立て、内装は他の相談員に割り振りました。個々の授業の空き時間が異なるため、進捗が把握しづらいという問題に直面しましたが、非対面でも互いがコミュニケーションを取れるように、情報共有ツールをうまく活用して対処しました。いろいろと苦戦しましたが、メディアセンターがもうすぐ完成予定です。



学部の学びが相談員の業務に活かされたことはありませんか？

藤井 ゼミで課題提出の機会が多いため、依頼された掲示や資料を短時間で

作成できるようになりました。

宮川 メディア情報学部の「CM制作論」や「アニメーション制作論」で、制作に入る前に、完成像や制作の方向性を固めておく重要性を学びました。広報動画の制作にあたっては、企画書を作成して職員の方に提出しました。その企画書が好評だったこともあり自信を持って制作を進めることができました。

田中 法学部を通して身に付けた「論理的に話す力」と「本質を見抜く力」は、相談員の業務でも役立っています。相談者に解決方法を伝える時は、どの順序で説明すれば伝わりやすいかを考えて話します。また、質問者の言葉をそのまま受け取って答えるのではなく、質問の意図や本質的な問題は何かを考えたうえで対応しています。

パソコン相談員での活動を通じて

成長を感じる点はありませんか？

宮川 パソコンのスキルも大きいです。一番は初対面の人との対話力です。**田中** 以前は恥ずかしさから自分から聞かないということを人に聞くことができなくなりましたが、要らぬプライドを捨てて、積極的に先輩や職員の方に

聞いて周囲に助けを求められるようになりました。そのおかげで曖昧な知識も明確になり、新しい知識を得られるようになったと感じています。

藤井 依頼された制作物は、なるべく早く作成し、様々な方に意見を求めて修正しています。自分だけの考えで完結させないことで、より良いものが作成できている実感もあります。

今後の目標を教えてください。

田中 マイクラの件も含め、自分のやったことが、誰かに影響を与えられるといいなと感じています。

藤井 これからも自分で「できる」「できない」を決めつけずに、任された仕事を前向きに取り組み、自分の将来の選択肢を増やしていきたいです。

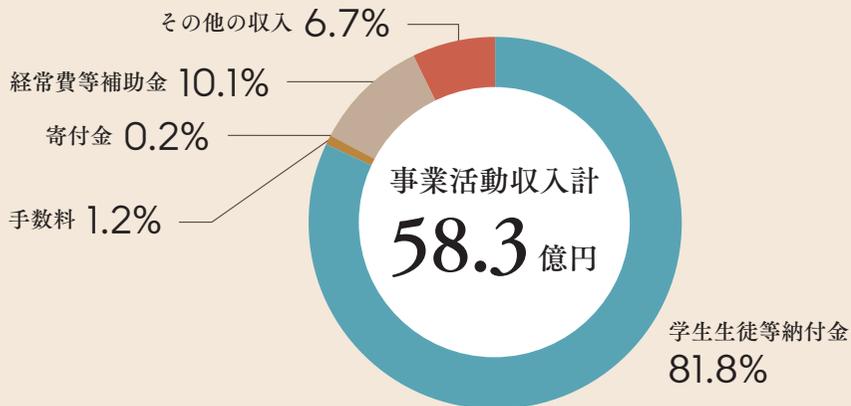
宮川 パソコン相談員の業務にかかわらず、自主的にAdobeのPremiere ProやAfterEffectを書籍や動画で勉強を続けて、将来自分が希望する職業に繋がっていきたいです。

メディアセンターの
取り組みはSNSで
随時発信しています。



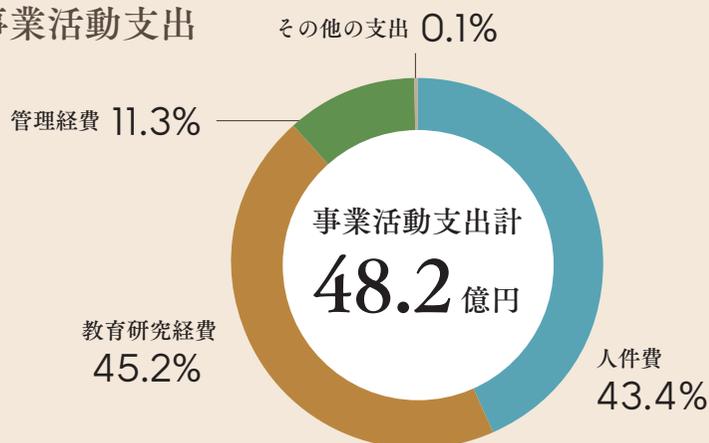
2022年度（令和4年度）決算 学校法人駿河台大学の財務状況

事業活動収入



事業活動収入合計（教育活動収入、教育活動外収入及び特別収入の合計）は58億3,776万円となり、前年度比で7,878万円の減少となりました。主な減少要因としましては、昨年度は、単年度収入としてIPアドレスの有償譲渡による雑収入があったことが挙げられます。一方、前年度比では、学生生徒等納付金、経常費補助金、付随事業収入は増加しています。

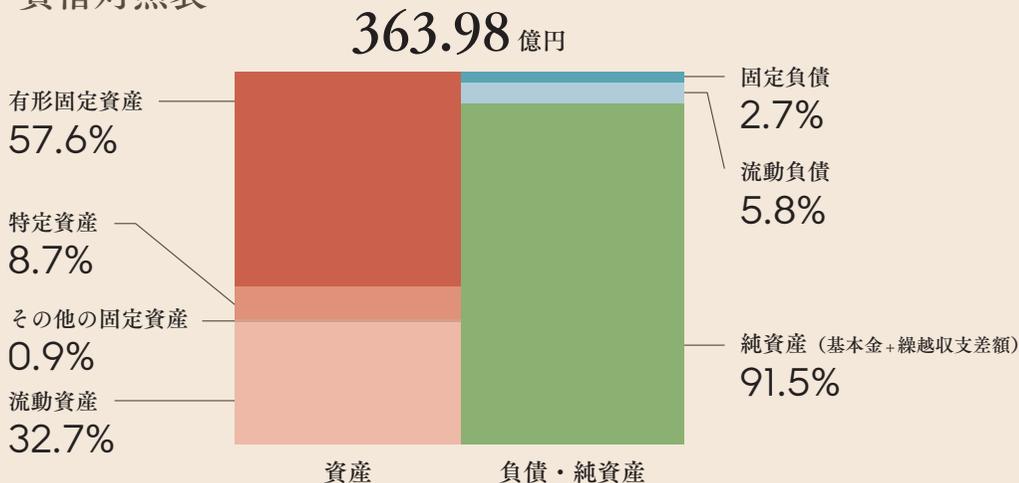
事業活動支出



事業活動支出合計（教育活動支出、教育活動外支出及び特別支出の合計）は48億2,573万円で、前年度比で1億809万円増加しました。主な増加要因としましては、新型コロナウイルス感染症の制限緩和による対面授業の再開等による教育研究経費の増加、社会情勢の影響による光熱水費等の増加が挙げられます。事業活動収入から事業活動支出を差し引いた基本金組入前当年度収支差額は10億1,202万円の収入超過となりました。

事業活動収入・支出は、当該年度の教育活動、教育外活動、それ以外の活動に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容を明らかにし、貸借対照表は、年度末での財産状態を表しています。

貸借対照表



資産総額は陸上競技場の全面改修、施設設備引当特定資産の計上を主な要因として、前年度より6億9,185万円増加し、363億9,860万円となりました。

負債総額は学費徴収方法の変更により、2023年度新入生の前受金が減少したのを主な要因として、前年度より3億2,017万円減少し、30億8,087万円となりました。負債総額の総資産に対する総負債比率（小さい値ほど良い）は8.5%で、「今日の私学財政（日本私立学校振興・共済事業団発行）」の令和3年度の大学法人全体（医学部・歯学部系法人を除く）の平均12.0%を下回っており、負債の少ない財政状況を示しています。資産総額から負債総額を差し引いた純資産は前年度より10億1,202万円増加し、333億1,773万円となりました。

学校法人は、財務情報の公開を行うことが義務付けられております。また私立学校の収入源が学生生徒等納付金や国及び地方自治体の補助金などで賄われていることから、学生や保証人の皆様はもちろんのこと、広く一般に大学の経営環境に対する理解を得るために、透明性の確保に努めなければなりません。

本学では、ホームページにおいて財務諸表を始め事業計画書及び事業報告書を積極的に公開しております。ここでは2022（令和4）年度の決算についてグラフを用いて公開します。公開により、学校法人としての公共性を高め、さらに今後の本学の発展につなげていきたいと考えております。



駿河台大学 財務状況公開ページ

<https://www.surugadai.ac.jp/about/finance.html>

財務部財務課

その他の活動、最新情報は大学HPやX（旧Twitter）で更新しています。ぜひご覧ください。



公式HP



公式X



ご父母向け就職セミナー

2023年9月9日(土)

90名を超えるご父母の皆様にご出席いただきました。就職活動に取り組む学生の様子を紹介するビデオ上映、キャリアセンター事務部長より2025年3月卒生の就活スケジュールや動向、基本的な準備の流れを説明しました。就職支援内容、ご父母への就職支援のお願い、またご父母向けの配信メールシステムなどの紹介がなされ、参加者のアンケートでは、不安が解消されたとのコメントを多くいただきました。



One Minute Video コンテスト

2023年9月9日(土)

ユニセフ（国連児童基金）の協力でスタートした「One Minute Video コンテスト」を、今年もメディア情報学部の学生が有志で集い、作品テーマ決めから、コンテストの宣伝、最終審査のWeb生配信などの運営を行いました。このコンテストは、1分間の“映像言語”を通して自身のメッセージを世界に向けて発信し自己表現力を養い、言葉の壁を超えて夢や希望を分かち合う活動となっています。



おでかけフェスタ2023in駿大

2023年9月16日(土)

飯能市内6か所の地域子育て支援拠点が本学に集まり、のびのびと遊べる場所を親子に提供し、親子のコミュニケーションを深めることを目的としたイベントを飯能市と共催で開催しました。心理学部「子どもの心の理解と実際」履修生を中心に、藤掛ゼミの有志学生がサポーターとして参加しました。知識だけではなく、実際に体験をしながら、子どもの発達や地域の子育て支援について学ぶ大変貴重な機会となりました。



子ども大学はんのう

2023年10月7日(土)

7～10月にかけて、飯能市教育委員会、飯能商工会議所、飯能信用金庫と共催で「令和5年度 子ども大学はんのう」を実施しています。10/7(土)は多目的グラウンドで、サッカー部の高峯監督が講師を務め、サッカーの競技特性を生かした『コミュニケーション』を体感する学習プログラムが行われました。サポート役のサッカー部員と積極的にコミュニケーションを取りながら鬼ごっこやリーグ戦を楽しんでいました。

駿河台大学の活動報告 *activity report*



修士論文中間発表会

2023年8月10日(木)

心理学研究科2専攻合同（犯罪心理学専攻、臨床心理学専攻）で修士2年生9名が修士論文の中間発表を行いました。2019年度以来の対面形式での開催で、久しぶりに院生・教員、学部生、学外参加者が集い、多くの質問やアドバイスが飛びかう活気にあふれた発表会となりました。修士1年生は、準備や当日の司会進行などを担い、先輩たちの発表や議論を間近で見ることで自身の研究計画を考える機会にもなりました。



学生選書ツアー

2023年8月31日(木)

メディアセンター学生スタッフ5名が三省堂書店神保町本店（小川町仮店舗）にて、学生向けの図書を選定しました。店内は、地下1階から6階まで、フロアごとに様々な書籍が置かれており、学生たちは、メディアセンターに所蔵したいと思う図書をそれぞれ吟味しました。今回学生が選定した図書は、メディアセンター3階の「学生推薦図書コーナー」に順次配架しています。



学生親睦企画「お笑いライブをつくろう」

2023年9月5日(火)

イベント運営や裏方に興味がある学生が集まり、人気若手芸人さんが出演するお笑いライブの企画・運営を行いました。タイトルを「大乱闘ゲラゲラブラザーズ」として、チケットは即日完売、満員のお客様を迎え大盛り上がりうちに終了しました。学生スタッフは、出演者の選定、企画台本作成や告知を行い、当日は受付から音響・照明の操作などを担当。「普段出来ない経験が出来た」と参加学生からも好評でした。



国際交流「留学生旅行」

2023年9月5日(火)～6(水)

留学生を対象とした、北海道の札幌・小樽への親睦旅行に52名（国際交流したい日本人学生・教職員含む）が参加しました。1日目は札幌観光、2日目は小樽で、小樽職人の会による体験学習に参加し、「スタンドグラスのオーナメント」「伝統の上生菓子作り」「純銀の指輪作り」「落款彫刻」をグループに分かれ楽しみました。初めは少し緊張していた学生たちも観光や土産物を買いながら交流を深めていました。



スポーツ科学部4年 田中 雄己選手

2023年9月のカヌースラローム世界選手権でパリ五輪の切符を掴んだ田中さんに取材しました。取材の最後に「五輪の結果も楽しみにしててください。」と力強い言葉で締めくくった田中さん。これまでの大学生活と今後の取り組みについて伺いました。



競技レベルを上げるため駿河台大学へ

カヌーは、マイナー競技ゆえに、高校まで練習仲間がいなかった。レベルを強化するために、環境を少しでも良くしたかった。駿河台大学は、カヌー部から五輪選手を多く輩出しており、学内の学生寮からカヌー場まで歩いて行ける環境にある。また、バルセロナ五輪とアトランタ五輪に出場経験のある藤野監督もおり、同年代の仲間たちからもたくさんのご指導を吸収できる。駿河台大学は、練習場所指導者、チームメイトの3つが揃うベストな環境だった。

大学での学びを競技に活かす

大学の講義でトレーニングやコンディショニングなどの理論を学んでいる。コーチから与えられた練習メニューも、ただこなすだけではなく、何を目的としているかを自分で考え、確認しながら取り組めるようになった。

カヌー部員としての団体行動や同期との技の教え合いなど学びも多い。また、一人では得られなかった仲間から応援される喜びも知った。

人生を変えた15分

大学2年の部活の合宿先で、リオ五輪銅メダリストの羽根田卓也選手と偶然話げできた。15分にも満たない何気ない会話であったが、『五輪に挑戦できる人も

時間も限られている』『大きな目標を立てて今ある環境を最大限に活かすべき』

という気持ちが芽生え、強く心を揺さぶられた。大袈裟ではなく、そこから自分の行動を大きく変えることになった。

自分自身を律して世界に挑む

1年半前から羽根田選手とトレーニングパートナーを組んだ。スロバキア人のミラン・クバンコーチと英語でコミュニケーションを取りながら、海外でのレースにも積極的に挑んだ。

高校2年ですべて日本代表として出場した世界大会では、緊張で自分をどう律してコンディショニングを整えれば良いかわからなかった。だが最近では、試合に『超集中』して力を発揮するメンタルコントロールができるようになった。

パリ五輪出場に向けて

先日の世界選手権でパリ五輪出場が内定した瞬間「うわぁ」と感情が沸き上がった。日本チームのメンバーから「やっとな」と声をかけられ、さらに嬉しさが倍増した。準決勝15位であったが、ペナルティがなければ上位入賞できるタイムだったため、着実に世界で戦えるレベルにきていると感じている。パリ五輪でのメダル獲得に向けて、できることを一杯やっつけていきたい。

学内施設最新情報

学生にとってキャンパスでの学びがより豊かになるように、毎年学内設備の充実を図っています。

active

ラーニング・commons Terrace -テラス-

メディアセンター 3階



メディアセンター1階にあったラーニング・commonsを3階北閲覧席西ブースに移し、リニューアルオープンしました。このエリアでは、グループまたは個人による学修や授業、図書館利用ガイダンス等の各種ガイダンスができます。多様な学修スタイルに対応し“学生を照らす”“学生にスポットライトが当たる”ような共有スペースにしたいという思いを込め、このエリアを「Terrace -テラス-」と名付けました。

restful

ショッピングセンター

大学会館 地下1階



コンセプトは、歴史ある空間を大切にしつつ、新しいものを取り込む“OLD&NEW”な空間です。学生へのアンケートによるニーズに応え、店舗内にカフェスペース57席を新設し、バーコード決済などが行えるセルフレジも導入しました。今後も、学生生活のサポートの場として、常に学生のニーズ把握に努め、活性化を図っていきます。

energetic

ホッケー場



ホッケーに欠かせない保水性の向上や選手の足の負担軽減のためクッション性の高い人工芝に張り替えました。日本リーグの公認競技会場として再認定を受け、9月から本学も会場として使用されています。

relaxed

中庭ベンチ



同窓会からの寄贈により、中庭ベンチを西川バウムの「はしらベンチ」に入れ替えました。座面の材木は、間伐材を有効利用したレンタル方式で、半年に1度交換し、2次・3次利用される仕組みとなっています。

Circle and Me

学業とサークル活動を両立して成長している学生を紹介します。



アカペラサークル a.c.p × 堀籠優月 [心理学部・3年]

アカペラサークル「a.c.p」に所属したきっかけは何ですか？

3歳からエレクトーンを始め、小学校で吹奏楽部、中学校で合唱部、高校で軽音楽部と音楽に関わってきました。大学でもこれまでの音楽経験を活かしつつ、未知のジャンルへ挑戦したいと考えていました。駿河台大学の案内冊子で「a.c.p」の存在を知ってからは、早くアカペラをしたくてワクワクしていました。

「a.c.p」ではどんな活動をしていますか？

毎週月曜と金曜の16時30分～20時に活動しています。4～6人で構成したバンド毎での練習と、部員全員で歌う全体練習などを行い、定期的に披露する機会を設けています。歌う曲は、自分たちでアカペラ用に楽譜をアレンジするため、活動時間外でもPCで楽譜作成、編曲を行うこともあります。

外部活動としては、立教大学、神奈川大学、東京都立大学と「四大学合同ライブ」を開催しています。また、今年はサークルとして飯能市内各地のイベントでアカペラを披露する機会もありました。

履修科目で好きな授業は何ですか？

「法と心理学」です。事件の目撃者証言は、その人が置かれた状況、判断がゆがめられてしまいます。また人間の記憶や情報処理には限界があり、これらによって誤った目撃情報となると冤罪や虚偽自白へ繋がる可能性があります。この授業では、司法の諸問題を心理学的な視点で捉え、目撃者からより多く正確に情報を得て、冤罪等を防ぐにはどのような面接法が必要かなどを学んでいます。

今後の目標は何ですか？

「a.c.p」としては、歌唱力やアレンジ力などを高め、外部イベントにさらに精力的に出演していきたいです。また、メンバーが「a.c.p」に入っ『て良かった』と思えるように親睦を深める企画も立案していきたいです。卒業後は、人に寄り添う仕事がしたいと考えています。私にとって、相手から感謝されることや、役に立っているという実感が何よりも原動力となります。社会貢献が実感できる職業を目指して就職活動も頑張りたいです。